器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- **器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。**
  器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- **器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。**
  器具と音響製品を離してご使用ください。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。
  壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。

■ランプ使用上のご注意

- LED光源寿命（光束維持時間）は、40,000時間です。
  光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- LEDの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■ランプ交換について　⚠注意　ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

⚠**警告　指定のランプ以外は使用しないでください。**
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

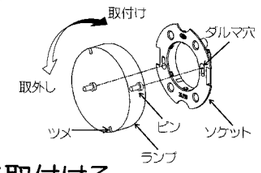
⚠**注意　点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。**　やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 遮光カバー・セードを取外す
■施工手順1、2を参考に遮光カバー・セードを取外す。

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける
ランプのピンをソケットのダルマ穴に合わせて押しつけ、右に回して取付ける。
※ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。落下によるけがの原因になります。



5 遮光カバー・セードを取付ける
■施工手順8、9を参考に遮光カバー・セードを取付ける。

6 使用済みのランプは
必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ　⚠注意　器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ケ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
  シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ　保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

＜保証について＞
1．取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2．保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。
3．グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
4．24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5．保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
6．保証は日本国内においてのみ有効です。
7．保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＜アフターサービスについて＞
1．保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
2．保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3．販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
4．弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」サービスセンターにお問合せください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)本体：1年間 LED電源/モジュール LED電球：3年間		取扱販売店名・工事店名・住所・TEL番号
お買上年月日		
お客様	お名前	
	ご住所	
	電話　　(　　)	

コイズミ照明株式会社

KOIZUMI　コイズミ照明器具　施工取扱説明書

型　番　AU54608・AU54610・AU54612

お客様へ　器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ　施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

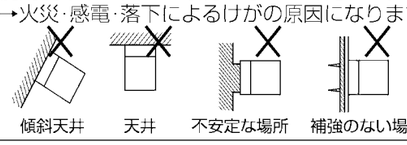
保存用

【安全上のご注意】

⚠警　告
この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

厳守
- **器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。**
  →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。

禁止
- **この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。**
  →火災・感電の原因になります。
- **この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。**
  →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障などの原因になります。
- **このような場所には取付けないでください。**
  この器具は壁取付専用器具です。天井・傾斜天井などには取付けできません。
  不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。
  →火災・感電・落下によるけがの原因になります。



分解禁止
- **器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。**
  →火災・感電・落下によるけがの原因になります。

禁止
- **器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。**
  →感電・故障の原因になります。

禁止
- **埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。**
  →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。
- **器具を布や紙などでおおって使用しないでください。**
  →火災の原因になります。

アース工事
- **アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。**
  →アースが不完全な場合、感電の原因になります。

厳守
- **タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋めてください。本体パッキンと取付面とのすきまを防水シールなどで埋めてください。**
  →火災・感電の原因になります。
  パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。

- **表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。**
  →火災・感電の原因になります。
- **異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。**
  →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

⚠注　意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

接触禁止
- **点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。**
  →やけどの原因になります。

禁止
- **ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。**
  →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

禁止
- **ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。**
  →火災の原因になります。

厳守
- **照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。**
  数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。
  →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

取説No. B023-037 DL／S・T

■定格

型　番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AU54608・AU54610・AU54612	AC100V	0.12A	4.6W	LDF4-H-GX53/H/K×1

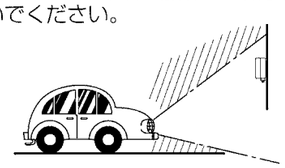
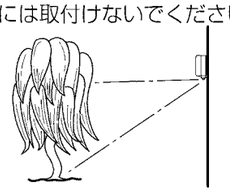
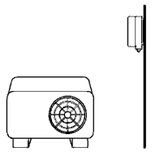
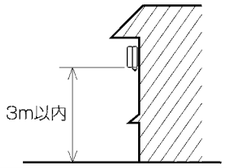
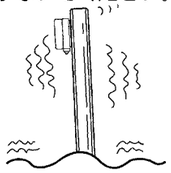
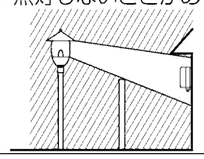
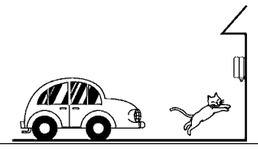
※センサ待機モードで消灯している場合、約0.5Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

- 下図のような場所には取付けない。
  誤作動の原因になります。

車のヘッドライトなど、強い光が直接センサ部に入る場所には取付けないでください。 	風などでよくゆれる植物などがある場所には取付けないでください。 	感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。
エアコンの室外機の近くには取付けないでください。 	取付高さが3m以上になる場所には取付けないでください。 	不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。 
昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。 	夜間でも明るい場所(隣地や他の照明がセンサにあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。 	感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。 

・無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

3 取付面が十分乾燥していることを確認する

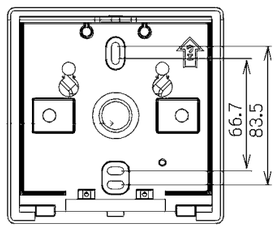
器具や取付面の変色の原因になります。

4 メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営物に取付ける場合

器具の金属部分と電気的に接続しないように施工する。

5 取付ピッチ

右図は器具を取付面から見た図です。



6 器具と他の光源は(負荷連動する器具も含む)1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

7 自動点滅器(デイライトスイッチなど)との併用はしない

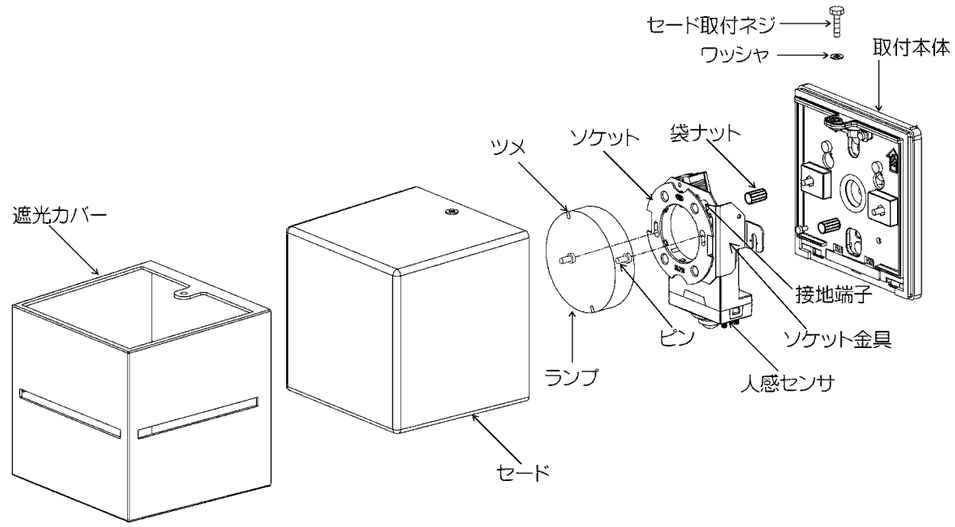
誤作動の原因になります。

8 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

■施工手順　⚠注意　取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



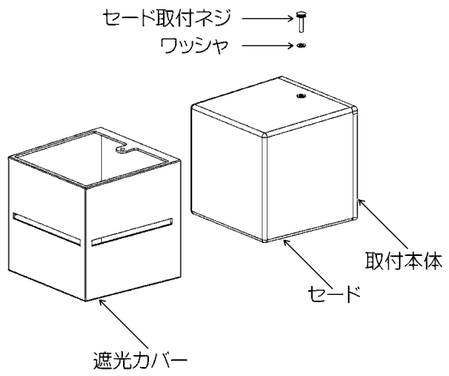
〈付属部品〉

取付ネジ・・・・・・・2本

エリアマスク・・・・・1個

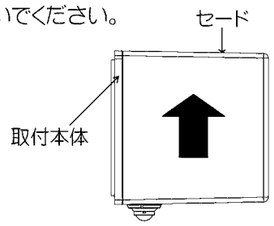
1 遮光カバーを取外す

セード取付ネジ、ワッシャを取外し、
遮光セードをセード・取付本体から取外す。



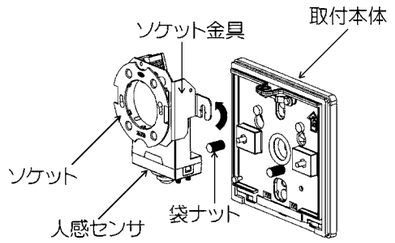
2 セードを取外す

セードを矢印方向に動かし、
セードのツメを取付本体から外し、引き抜く。
※無理な力は加えないでください。



3 ソケット金具を取外す

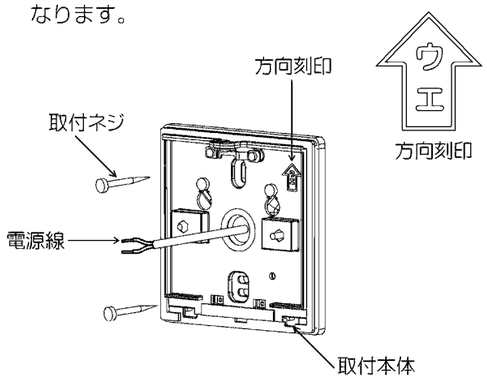
袋ナットを取外し、取付本体からソケット金具を
取外す。



4 取付本体を取付ける

取付本体に電源線を通し、取付ネジで取付ける。

⚠警告　方向刻印に従って取付けてください。
指定方向以外に取付けた場合は火災･感電の原因になります。

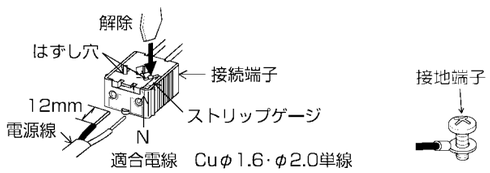


5 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、
接続端子に確実に差し込む。
はずす時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライバー
を差し込み、電源線を抜く。

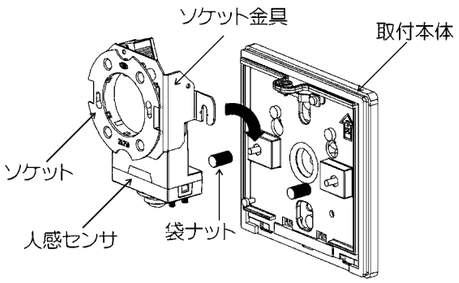
※D種(第三種)接地工事を行なう。

⚠警告　電源の接続を確実に行なってください。
接続が不完全な場合は火災･感電の原因になります。



6 ソケット金具を取付ける

人感センサが下向きになるようにソケット金具を
取付本体に合わせ、袋ナットで取付ける。



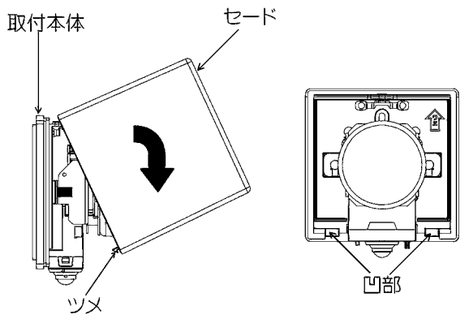
7 ランプを取付ける

■ランプ交換について4を参考に、ランプの取付け
を丁寧に、確実に行ってください。不備がありま
すと落下によるけがの原因になります。

8 セードを取付ける

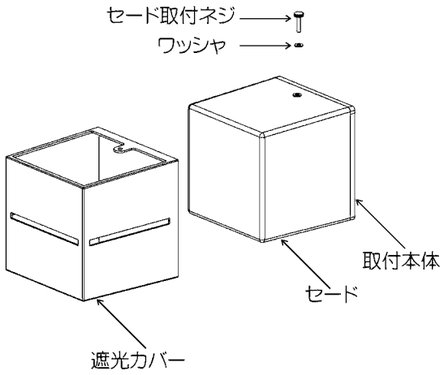
セードを取付本体上部に合わせ、
引掛けるように矢印方向に動かしながら、
セードのツメを取付本体の凹部に押し込む。

※無理な力は加えないでください。



9 遮光カバーを取付ける

遮光セードをセード･取付本体に合わせ、
セード取付ネジ､ワッシャで取付ける。
※セード取付ネジをしっかり締めてください、
不備がありますと漏水･感電･故障の原因になります。



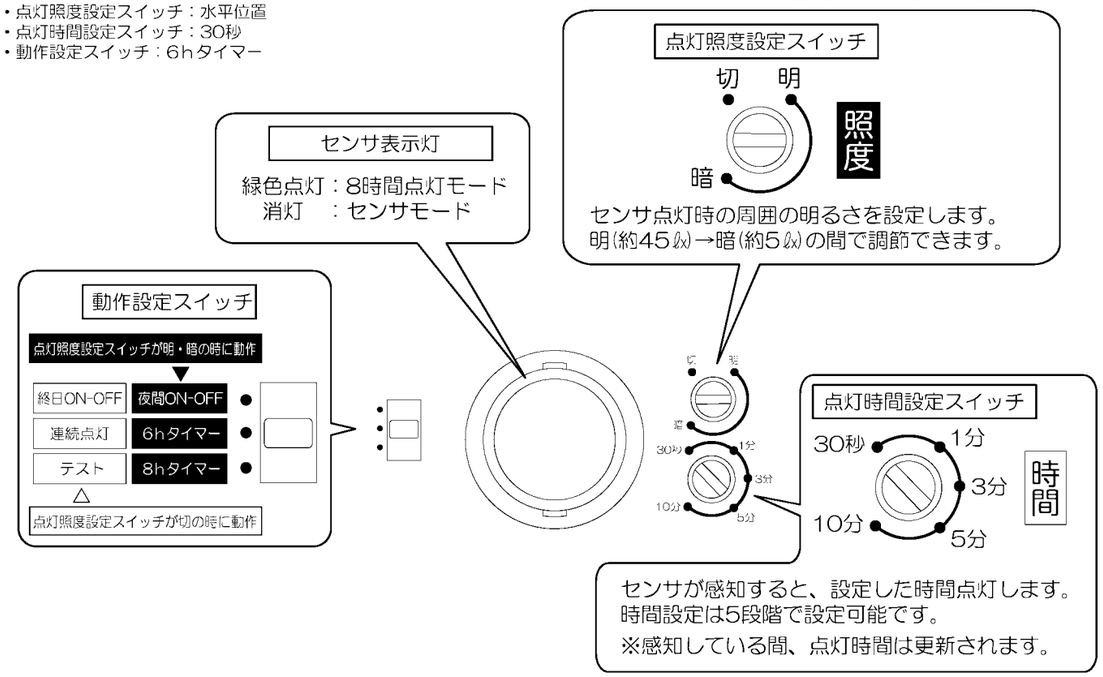
10 点灯の確認を行なう

■感知エリアの設定を参照し、テストモードで
センサの動作確認と感知エリアの確認を
行なってください。

■センサの内容

※出荷時は以下の設定になっています。
・点灯照度設定スイッチ：水平位置
・点灯時間設定スイッチ：30秒
・動作設定スイッチ：6hタイマー

※実際の器具表示とは一部異なる箇所があります。

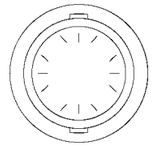


動作設定スイッチ	終日 夜間			連続 6h			テスト 8h		
点灯照度設定スイッチ	切	明	暗	切	明	暗	切	明	暗
設定内容	終日オンオフモード	夜間オンオフモード 約45ℓxで点灯できる状態	夜間オンオフモード 約5ℓxで点灯できる状態	連続点灯モード	6時間 タイマーモード 約45ℓxで点灯	6時間 タイマーモード 約5ℓxで点灯	テストモード	8時間 タイマーモード 約45ℓxで点灯	8時間 タイマーモード 約5ℓxで点灯

※電源投入後、約60秒後に一旦消灯し、設定されたモードになります。(連続点灯モードを除く。)

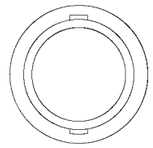
■センサの表示灯について

センサ表示灯



緑色点灯

緑色点灯時<8時間点灯モード>
動作設定スイッチ、点灯照度設定スイッチが
いずれの位置であっても、壁スイッチで点灯、
消灯操作ができます。（このモードは設定し
てから8時間有効です。8時間後に緑色点灯
は消灯します。）



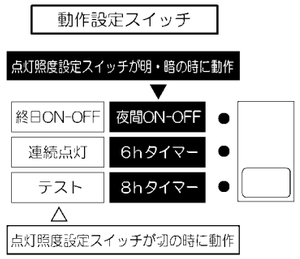
消灯

消灯時<センサモード>
動作設定スイッチ、点灯照度設定スイッチ
組み合わせモードの状態です。

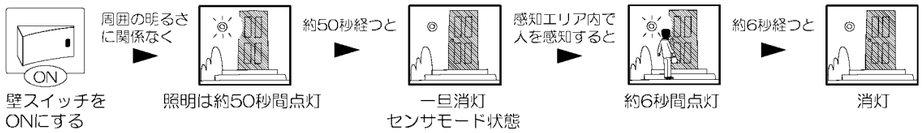
→センサ表示灯の切替方法はP.9へ

■感知エリアの設定
テストモードでセンサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

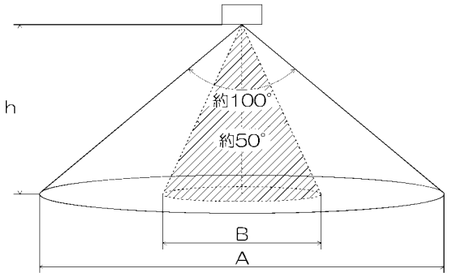
下図のように点灯照度設定スイッチを「切」に動作設定スイッチを「テスト」設定し、
センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

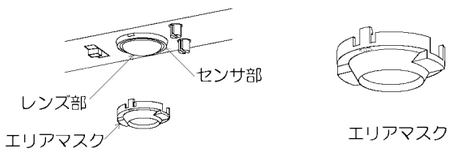


電源投入後、約50秒間点灯し、その後テストモードになります。
人を感知するごとに点灯時間が延長しますが、電源投入から約60秒後に一旦消灯し、テストモードになります。
テストモードは人を感知するごとに約6秒間点灯します。



●エリアマスクで感知エリアをせまくできます。
エリアマスクの凸部をセンサの凹部に“カチッ”と音がするまではめ込んでください。





□ エリアマスクなし
▨ エリアマスクあり

(m)

		A	B
h	2.0	5.0	(2.0)
	2.5	6.0	(2.5)
	3.0	7.0	(3.0)

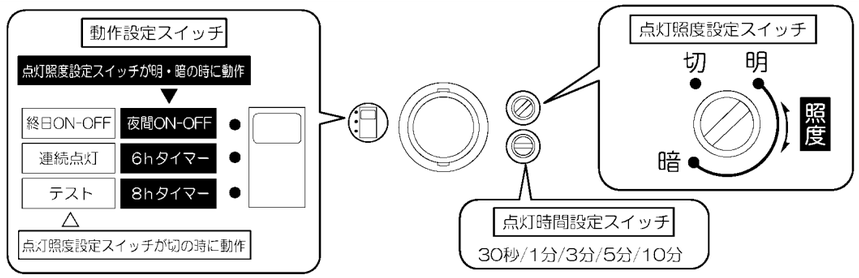
※( )内はエリアマスク使用時
※センサに向かっての動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)
※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。
※エリア確認後は必ず■センサの設定(P.7･P.8)を行なってください。

■センサ機能について　ご使用いただきたい用途に合わせて、センサ機能を設定いただけます。

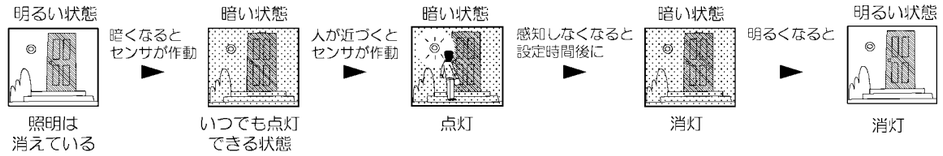
暗い時だけ センサ機能を使いたい	帰宅時間帯は連続点灯させ、深夜～朝方は人が近づくと点灯させたい ・・・【6時間･8時間タイマーモード】→P.7･P.8へ
	人がいない時は照明を消灯させ、人が近づくと点灯させたい ・・・・・・・・・【夜間オンオフモード】→P.7へ
明るさに関係なく センサ機能を使いたい	人がいない時は照明を消灯させ、人が近づくと点灯させたい ・・・・・・・・・【終日オンオフモード】→P.8へ
使う時だけ壁スイッチで 照明を点灯させたい	壁スイッチで照明を点灯･消灯させたい ・・・・・・・・・・・【連続点灯モード】→P.8へ
明るさに関係なく点灯させた後 センサ機能を使いたい	壁スイッチで8時間点灯させた後、センサ設定モードへ自動で切り替えたい ・・・・・・・・・・・・【プルレス操作】→P.9へ

■センサの設定
ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度を設定してください。
※電源投入後、約50秒間点灯し、その後は明るくても人を感知するごとに約6秒間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります。(連続点灯モードを除く。)
※設定後、連続点灯モード以外は、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

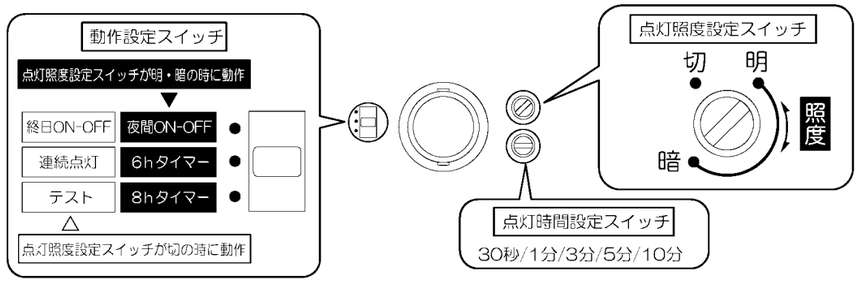
夜間オンオフモード



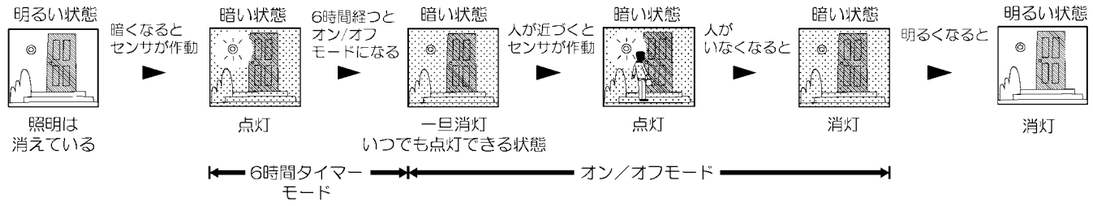
暗くなって人が来た時だけ点灯



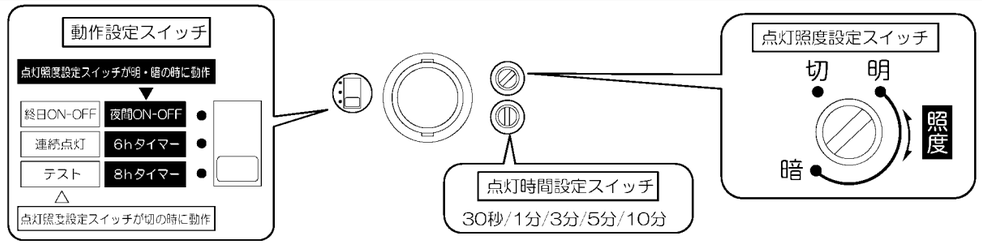
6時間タイマーモード



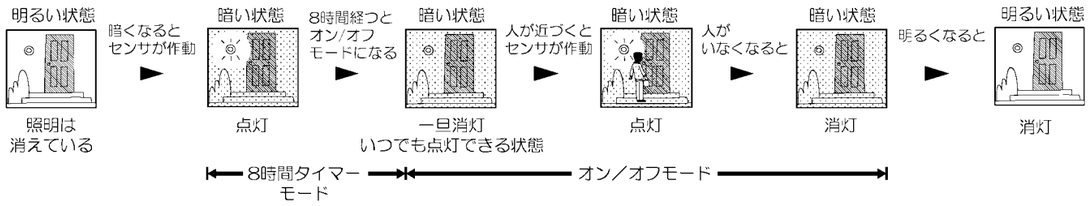
暗くなると自動点灯し、その後は、6時間後は人が来た時だけ点灯



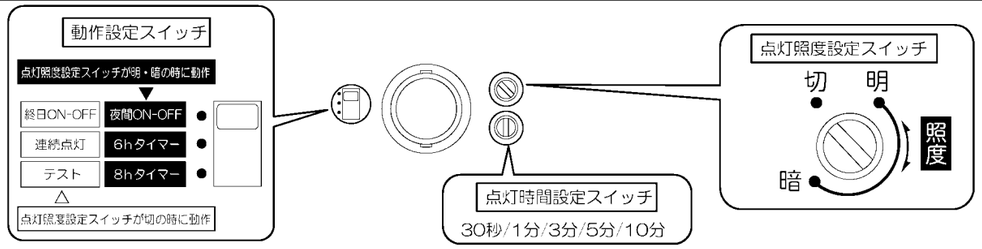
8時間タイマーモード



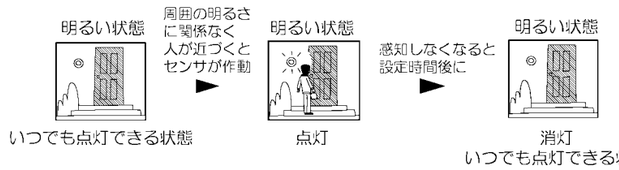
暗くなると自動点灯し、その後は、8時間後は人が来た時だけ点灯



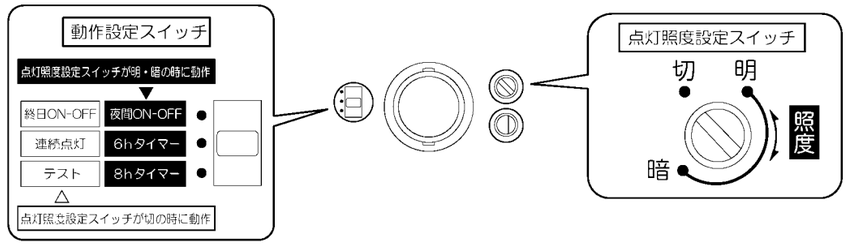
終日オンオフモード



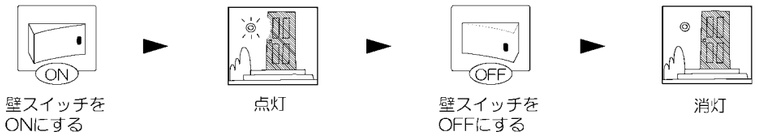
明るくても暗くても人が来た時だけ点灯



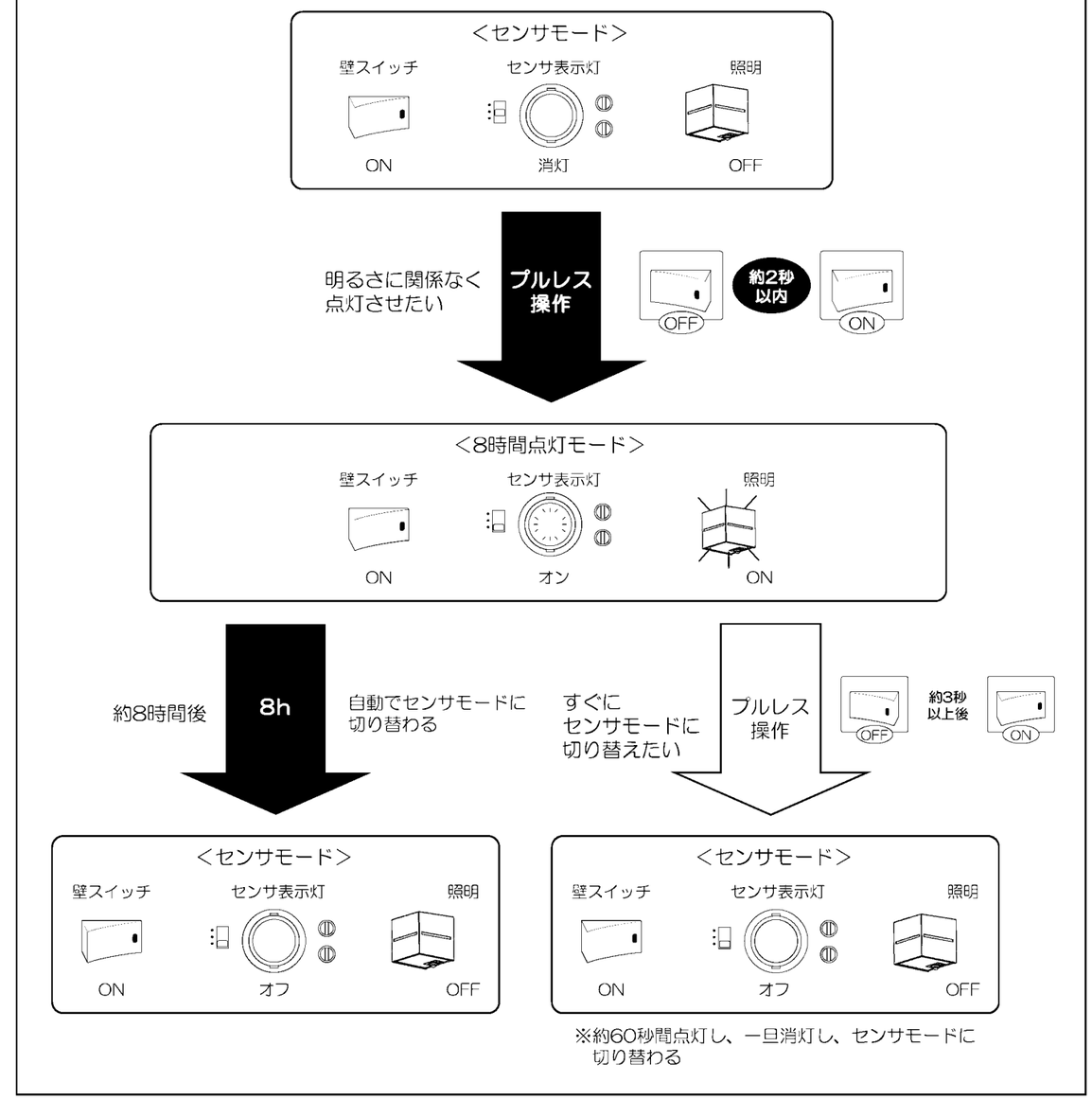
連続点灯モード



センサに関係なく壁スイッチで連続点灯



■壁スイッチで操作する （プルレス操作）



※約60秒間点灯し、一旦消灯し、センサモードに
切り替わる

修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

●センサ感知動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。
●正常に戻らない場合は、壁スイッチをOFFにして（３秒以上）再びONにしてください。

こんなとき	考えられる原因	処　置
感知エリアに人がいるのに点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	点灯照度設定ツマミで設定した明るさよりも周囲が明るい	点灯照度設定ツマミを「明」側にする
	センサに光が入っている	光源を取り除く
	人が静止しているか動きが小さい	静止しているか動きが小さい状態では感知できません
感知エリアに人がいるのに点灯しにくい	センサがよごれていたり蒸気などの水滴がついている	センサを柔らかい布で傷がつかないようふきとる
	感知エリアが適切ではない または、センサに向かって歩いている	感知エリアを調節する (説明書P.6の■**感知エリアの設定**をご確認ください)センサに向かっての動作は感知しにくくなります
	エリアマスクを付けている	エリアマスクをはずす
	寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり手袋をしている	本センサは温度変化を感知するため左記の場合感知しにくいことがあります （故障ではありません）
	暑い日などで周囲温度と人体の温度差が少ない	
感知エリアに人がいないのに点灯している	感知エリア内に人以外の熱源がある （例）白熱灯照明器具 エアコンの吹き出し口 風などでよく揺れるもの （植木、カーテンなど） 犬や猫などの動物 ストーブなどの暖房器具	感知エリア内の熱源を取り除く 本センサは温度変化を感知するため左記の要因で感知エリア内の温度に変化があった場合、センサが反応することがあります （故障ではありません）
	感知エリアが適切ではない	感知エリアを調節する （説明書P.6の■**感知エリアの設定**をご確認ください）
	エリアマスクが付いていない	エリアマスクを付ける
	壁スイッチをONにした直後または停電が回復した直後	壁スイッチON後、約60秒間は点灯します（故障ではありません）
	壁スイッチの操作により**8時間点灯モード**になっている	壁スイッチを一度OFFにして(3秒以上)再びONにする
	3秒以内の停電により、**8時間点灯モード**になることがまれにありますが、故障ではありません。	
	センサの設定が**連続点灯モード**になっている	センサの設定を変更する （説明書P.7の■**センサの設定**をご確認ください）

こんなとき	考えられる原因	処　置
人がいなくなってもなかなか消灯しない	感知エリア内で人以外の熱源を感知し点灯時間が延長されている	感知エリアを調節する （説明書P.6の■**感知エリア**の設定をご確認ください）
	センサの設定が**6時間・8時間タイマーモード**になっていて設定した時間が経過していない。	センサの設定を変更する （説明書P.7・P.8の■**センサの設定**をご確認ください）
	センサの設定が**連続点灯モード**になっている	
周囲が暗くなっても人を感知して点灯しない（消灯状態である）	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	点灯照度設定ツマミで設定した明るさよりも周囲が明るい	器具の設置場所を明るくしている原因を取り除く
		点灯照度設定ツマミを「明」側にする
周囲が明るいのに人を感知しているまたは人がいないのに点灯している	**点灯照度設定**ツマミが「明」または「切」になっている	点灯照度設定ツマミを「暗」側にする
	器具の設置場所が暗い （昼間でも暗い）	器具の設置場所を暗くしている原因を取り除く **6時間・8時間タイマーモード**でご使用の場合、昼間でも周囲が暗い時や雨や曇りなどで周囲が暗くなった時は、まれにセンサが夜と勘違いして照明を点灯させることがあります 壁スイッチをOFFにして3秒以上たってからONにしてください
	何らかの要因により周囲が暗い状態になった	
人を感知して点灯するがすぐに消灯する	センサの設定が**テストモード**になっている	センサの設定を変更する （説明書P.7・P.8の■**センサの設定**をご確認ください）
	壁スイッチをONにした後、約60秒以内である	壁スイッチON後、約50秒間点灯し、その後、約10秒間は明るくても人を感知するごとに約6秒間点灯します(故障ではありません) 壁スイッチONから約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります (連続点灯モードを除く)